

ステップアップ

題字：渡邊 真鏡 作 (書道家 兼 事業団利用者)

2021年 新年号 (vol. 34)



東京国立博物館にて



特定非営利活動法人

みなと障がい者福祉事業

〒105-0014 港区芝1-8-23

港区立障害保健福祉センター5階

電話 03 (5439) 8062

FAX 03 (5439) 2515

<http://www.minato-jigyodan.org>

理事長挨拶

～新年のご挨拶～

みなと障がい者福祉事業団
理事長 堀 信子

新年明けましてお目出とうございます。

昨春から新型コロナウイルス禍によって社会全般が総て滞っています。

其中で事業団の役割は障害者支援ホーム南麻布に新たな仕事場が出来て、利用者の皆さん張切って清掃と洗濯の仕事に携わっていました。

私も見学に行き皆さんの仕事振りをこの目でしっかり見て参りました。

本当に良かったと思います。

区役所の花壇の手入れやその他の仕事も見事に出来ています。皆さん各々の立場で立派に責任を果しています。

昨年は、坪本事務局 長を始めとして皆さん一生懸命一致団結（一寸古いことばででしょうか？）して、成果を上げられました。

新しい年は、一日も早くコロナが終束することを祈ります。

多くの方々のご支援心から感謝申し上げます。

本年も変わらぬご指導をお願い致します。

会員の皆さん三密にならないようきちんと守って下さいね。



港区就労支援センター「かもめ」

25年間勤務されているSさんの紹介



今回、港区役所内で清掃のお仕事をしているSさんの職場を訪問しました。数年に一度清掃の委託業者が代わる中で、25年間ずっと区役所内の清掃をしています。大変なことや長く働かれている秘訣などを伺いました。

Q：東京都立港養護学校（現：東京都立港特別支援学校）を卒業して港区役所内の清掃に勤めて何年になりますか。

A：25年です。

Q：仕事内容（勤務時間は、午前6時30分～午後3時）を教えてください。

A：各階のごみ取り、缶つぶし、エレベーター内のボタン拭き、外回り、植木への水やり、自動ドアの拭きとりなどです。

Q：苦手な仕事はありますか。

A：天候が悪い時の外回りの仕事です。

Q：清掃の委託業者が数年に1度代わっていますが、人間関係や指導の仕方も変わり、大変だったと思います。不安はありませんでしたか。

A：やっぱりありました。でも、頑張るしかないと思いました。今の業者の方は皆優しいから働きやすいです。

Q：区役所内の仕事のやりがいはなんですか。

A：職員が挨拶してくれることです。

Q：土日はどのように過ごしていますか。

A：フライングディスクや散歩、買い物です。いちよう学級（港区の青年学級）も始まりました。（*フライングディスクは、全国大会に出るほどの腕前です。）

<職場の担当者より>

Q：出勤状況はいかがですか。

A：体調を崩して休むことは、ほとんどありません。遅刻や早退もありません。

Q：何か配慮していることはありますか。

A：（手足に麻痺があるので）人や物にぶつからないように常に気をつけるよう声掛けをしています。

Q：Sさんの働きぶりはいかがですか。

A：前委託業者から引き継がれた後で従業員が不安な時、Sさんが細かい部分まで教えてくれたので、とても助かりました。

～これからもお体には気をつけて、お仕事頑張ってください。応援しています！～

就労実績（令和2年4月～11月）

就労支援センター「かもめ」登録者の就労実績です。

12名の方が就職されました。

4月	2名（精神）	事務補助
	1名（精神）	清掃
	1名（身体）	一般事務
5月	1名（知的）	農園スタッフ
	1名（精神）	アパレル
	1名（精神）	事務補助
7月	1名（精神）	医療スタッフ
8月	1名（精神）	一般事務
	1名（身体）	本人希望により非公表
11月	1名（精神）	システムエンジニア
	1名（精神）	販売スタッフ

※後日判明分含む。



就労移行支援事業所「はばたき」

課外活動の報告

はばたきでは普段は障害保健福祉センターの中で清掃や就労準備プログラムを
行っておりますが、多くの経験をすることで、自主性、協調性等を培っていただく
ことを目的に定期的に課外活動を実施しています。今年度は新型コロナウイルスの
影響でイベントの開催・参加が難しい年となってしまいましたが、11月になって
ようやく課外活動を実施することができました。

令和2年11月9日に東京国立博物館にて特別展「桃山 天下人の100年」特別
鑑賞会に参加しました。当日は良く晴れた絶好の外 出日和、上野公園の紅葉や噴水
を鑑賞しながら、東京国立博物館へ赴きました。仲間たちとゆっくり風景を眺めな
がら歩くだけでも、十分外出の価値があると感じます。鑑賞会では、安土桃山時代
の絢爛豪華な絵画や甲冑、刀剣などに熱心に見入って歴史に肌で触れる良い機会と
なりました。新型コロナウイルスの影響で、3密を避け、マスクするなど、感染症には
十分注意して鑑賞を行いました。



はばたきの利用希望者を募集しています

就労移行支援事業所「はばたき」では
障がいのある方の就職活動をサポート

しています。「就職に向けてスキルアップを目指したい」「就職活動のサポートをして
ほしい」という方はぜひ、お気軽にご連絡ください。

就労移行支援事業所「はばたき」担当：大高、若宮、東村

TEL：03-5439-8062 e-mail：mawc@beach.ocn.ne.jp

新橋カフェ・ドゥー <港区立生涯学習センター1階>

カフェ・ドゥーでは「ペイペイ (PayPay)」が使えるようになりました

これまでカフェ・ドゥーご利用のお客様は現金払いのみ取り扱ってききました。
キャッシュレス化の普及への対応とともに、新型コロナウイルス対策の一環として、
カフェ・ドゥーに新しくスマートフォンを用いたQRコード決済システム「ペイペ
イ (PayPay)」を令和2年9月1日から導入しました。多くのお客様のご来店をお待
ちしております。

障害者週間記念事業 受賞おめでとうございます

株式会社東京ソワールは、10年間カフェ・ドゥーのカレー・パンの出張販売を
受け入れてくださり、長年にわたる障害者への支援の成果が認められて、武井
雅昭港区長から感謝状が贈呈されました。また、カフェ・ドゥーの利用者の渡邊
真観さんが障害者週間記念事業のポスター原画に入賞し、障害者週間記念式典に
て表彰されました。これで4年間連続受賞となります。今年度は「東京2020ス
ポーツを共に楽しもう」というテーマの作品でした。受賞おめでとうございます。

大門トロア <都営地下鉄大門駅B1階>

利用者さんの紹介

鈴木さん：平成20年の開店当時から店のパン焼成を一手に引き受けて貰っています。

誠実で思いやりに溢れスタッフ全員に愛されています。

飯田さん：丸3年が経ちました。店の仕事も大半を覚えてくれ今ではとっても頼りに
なる存在です。

廣戸さん：もうすぐ3年目の彼女。最初は不安があったようですが、最近では自信も
出てきてスタッフとも打ち解けて笑顔で働いてくれています。

佐々木さん：店舗には無くてはならない存在。通算6年。一昨年は思いがけない脚の
怪我に見舞われて辛い思いをしましたが、不屈の精神で復活してくれまし
た。



A清掃（就労継続支援A型事業）



センター清掃

令和2年10月5日より、ろぜは一とからセンター清掃へ異動となりました。崎田です。

経験のない職種の為、戸惑いもありましたが、センター清掃の方々の協力により支援員として日々作業習得に追われています。作業は早朝から開始の為、前日と当日に清掃用品の余裕をもった準備が必要です。又限られた時間の中で掃除、必要品の補充、ごみ回収、廃棄、洗濯などの一連の作業を行う必要があります。そのような状況から利用者各自が分担作業を行う為の工程の確認が必要です。作業を終了するため全員の協力が欠かせず、仕事を行う上での基本的な事が身に付く職場です。

南麻布清掃

まだコロナ禍の影響を受けてはいますが、感染拡大防止策を徹底することで南麻布四丁目福祉施設では、春から夏にかけての清掃作業箇所の変更・縮小、洗濯作業の一時中止、利用者の勤務時間短縮及び在宅作業支援などを経て、現在なんとかコロナ以前の日常を取り戻しつつあります。感染拡大防止策といっても特別なことではなく、世間で言われている基本中の基本であるマスクの着用と手洗いの励行、そして清掃作業時の手袋(ゴム手袋、作業用手袋を問わず)着用につきます。これは、清掃従事者の基本ともいえるものですので、過去にも清掃に従事したことのある利用者の皆さんにとっては、すでに習慣となっており、支援員が口酸っぱく言わなくても自主的に手洗いなどしてくれるので助かっています。作業そのものも始業から終業までの一連の流れがやっと整った感があり、利用者は、そのなかで毎日のルーティンを繰り返し行うことにより、工夫を凝らし、より質の高い作業をより短時間で出来るようになってきています。

これから南麻布四丁目福祉施設で作業することになって初めての冬を迎えます。館内での作業が主ですが、水仕事もありますし、利用者はじめ清掃従事者全員が健康に十分に留意し、滞りなく作業を進められるよう努めていこうと思っています。

はなみずき（港区役所内福祉売店）から

はなみずきでは一昨年から港区の広報番組やニュース系の番組に取り上げられる機会が増えて、テレビを見たというお客様にたくさんご来店いただいています。また店内で販売している野菜の生産者にも来ていただき、直接販売するという試みも定期的に行っています。皆が元気で仕事ができるよう、やれることをやっています。ぜひお越しく下さい。



ろぜは一と（高輪福祉売店）から

令和2年10月より福祉売店「ろぜは一と」を担当しております、鈴木恵子です。高輪地区総合支所ロビー内「ろぜは一と」において、工房ラピールさん、みなとワークアクティさんなどの商品を利用者さんと共に販売しております。利用者さん達の働く場が沢山あれば良いなと思っております。

ステップアップ2020夏号訂正の案内

前号「ステップアップ2020夏号(vol.33)」において、一部に誤りがありました。以下のとおり訂正いたしますと共に関係者をはじめ、皆様にお詫び申し上げます。訂正箇所：3ページ 港区就労支援センター「かもめ」の就労実績
訂正内容：

(誤) 就労実績(令和2年1月~7月) ⇒ (正) 就労実績(令和2年1月~3月)

☆令和2年度 賛助会費納入のお願い☆

事業団では、活動に共感し、経済的支援をしていただける賛助会員を募集しています。今年度も事業団の趣旨・目的にご理解を賜りますよう、お願い申し上げます。賛助会費は、個人、団体ともに1口3,000円で、口数は何口でも結構です。お手数ですが、郵便振替「払込取扱票」により最寄りの郵便局でお払込みください。事業団事務局での受領もいたします。

郵便払込み先：特定非営利活動法人 みなと障がい者福祉事業団

00180-4-594846